

# 和光小デジタルシティズンシップ10か条



1. クロムブックは「学校から借りている文房具」であることを理解し、日々の学習に役立てます。

テクノロジーに依存するのではなく、テクノロジーのよき使い手となるため、この10か条を常に意識します。

2. オンラインとオフラインの両方を活用する力を伸ばします。

図書室の本や資料から情報を得ることや、人と顔を合わせて行う対話を大切にし、情報の検索・蓄積・発信のための手段の1つとして、クロムブックを活用します。

3. インターネットの情報の中には、嘘と本当が混ざっていることを理解しています。

大人のアドバイスをもとに、信頼できる内容か、信頼できる情報源かを判断する練習を重ねます。

4. 健康のため、自分自身のスクリーンタイムを把握・管理し、時間の約束を守ります。

例えば…30～40分に1回は目を休ませる。

寝る時間の1～2時間前からは画面を見ない。

ゲームやスマホを合わせたデジタル機器の1日の使用時間の合計を守る。等

5. IDとパスワードの大切さを理解し、適切に管理します。

自分も、自分以外の人も、全ての人のプライバシーを大切にします。

6. 責任をもった使い方、適切な使い方を学ぶため、誰にでも、面と向かって言える、堂々と見せられる内容を、適切な言葉遣いで行うことを約束します。

また、学校から借りているクロムブックは、「いつ」「誰が」「何を」したか、全て確認できることを理解しています。

7. デジタルタトゥーの考え方を理解し、インターネット上で使う言葉と行動について、相手を尊重できているかどうかを常に考えます。

思わぬところで誰かを傷つけないように注意を払い、ネットいじめを「絶対にしない、参加しない、見て見ぬふりをしない」ことを誓います。これは、ネット上に限らず、常に大切にして“いじめ0”を目指します。

8. 何か心配なことや困ったことが起こったときは、すぐに先生やうちのの人に相談します。

今は判断力を伸ばしている途中なので、大人の判断が自分の考えと違う場合も、まずは相手の話に耳を傾けます。それが、建設的な話し合いの第一歩です。

9. 不適切な使い方をしたときは、クロムブックの利用が制限され、より良い使い方に向けて話し合いを行います。

これは、正しい使い方を1つずつ覚えていくためのステップです。

10. クロムブックは、壊れないように大切に扱います。

故障すると、自分が使えなくなるだけでなく、自分のあとに使うはずだった人も困ること（私が卒業したら、新しい1年生が私の端末を使うこと）を理解しています。もし壊れてしまったら、誰かが修理・弁償してくれていることを忘れません。

## デジタルシティズンシップ6つのテーマ



MEDIA BALANCE & WELL-BEING  
We find balance  
in our digital lives.

We find balance in our digital lives

メディアバランスとウェルビーイング ～ デジタル生活にバランスを見出す



PRIVACY & SECURITY  
We care about  
everyone's privacy.

We care about everyone's privacy

プライバシーとセキュリティ ～ みんなにプライバシーに気を配る



DIGITAL FOOTPRINT & IDENTITY  
We define who we are.

We define who we are

デジタル足跡とアイデンティティ ～ 私が誰なのかは自分で決める



RELATIONSHIPS & COMMUNICATION  
We know the power  
of words & actions.

We know the power of words & actions

対人関係とコミュニケーション ～ 言葉と行いの力を知る



NEWS & MEDIA LITERACY  
We are critical  
thinkers & creators.

We are critical thinkers & creators

ニュースメディアリテラシー ～ 批判的思考と創造



CYBERBULLYING, DIGITAL DRAMA & HATE SPEECH  
We are kind & courageous.

We are kind & courageous

ネットいじめ・もめごと・ヘイトスピーチ ～ 親切と勇気